

平成26年度入学試験問題（前期日程）

筆記試験

教育学部 学校教育教員養成課程
小・中学校教科教育コース
美術教育専修

注意事項

1. 受験番号を、解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答時間は、2時間（120分）である。
4. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけない。

問 題

1

次の文章1～15は、美術に関する基礎的なことがらを述べたものです。
正しいものには○を、間違っているものには×を、解答用紙 1 の解答欄の中
に記入しなさい。(30点)

- 1 同じ素焼きの人物形象でも、埴輪は縄文時代に、土偶は古墳時代に造られた。
- 2 「神奈川沖浪裏」は、歌川広重の「東海道五十三次」シリーズの内の一枚である。
- 3 平安時代の「北斎漫画」には、現代の漫画表現に通じるものがあると言われている。
- 4 民芸運動の理論的指導者であった柳宗悦は、沖縄や朝鮮の工芸品を高く評価した。
- 5 粘土による塑造作品は、型取りして石膏やブロンズにすることが多い。
- 6 ヒノキは柔らかくて軽く、ゆがみや縮みなどが少ない優良木材で、「能面」は主にヒノキで製作されており、日本最古の木造建築「法隆寺」にも使われている。
- 7 サイトスペシフィック・アートとは、特定の場所に存在するために制作された美術作品および経過のことをさす。
- 8 琉球王府時代の首里で、芭蕉布の原料である糸芭蕉から沖縄独自の紙「芭蕉紙」が漉かれるようになった。
- 9 紅型は庶民の衣装として発展を遂げた。
- 10 「抽象表現主義」は、第二次世界大戦後、アメリカが初めて世界に影響を及ぼした美術運動である。
- 11 詩人・思想家、そしてデザイナーでもあるウィリアム・ブレイクは、生活と芸術の統一を目指すアーツ・アンド・クラフツ運動を主導した。
- 12 スイス出身の画家パウル・クレーは、「芸術とは眼に見えるものを再現することではなく、眼に見えるようにすることだ」という言葉によっても知られる。
- 13 二十世紀初頭、ピカソとブラックを中心に始められた「キュビズム」は、その後、ヨーロッパ各地で同時多発的に起こった多様な芸術運動の起点となった。
- 14 イギリスでは、幾何学的な抽象芸術を極限まで押し進めた「新造形主義」が、画家ピエト・モンドリアンによって創始された。
- 15 バーネット・ニューマンやマーク・ロスコの絵画は、色面の広がり为主要な表現手段としており、「カラーフィールド・ペインティング」と呼ばれている。

2

「^{すきま}隙間」をテーマにした図工・美術の授業を考え、その授業内容を、絵や図を使って分かり易く説明しなさい。

「^{すきま}隙間」

非公開

(デジタル大辞泉 <http://kotobank.jp/word/隙間> より)

注意事項

1. 解答用紙 2 は罫線の有るものと無いものがあるので、自由に使用してよい。
2. 字数や解答用紙の枚数に制限はないが、No. 欄に通し番号を記入すること。

平成26年度入学試験問題（前期日程）

筆記試験

教育学部 学校教育教員養成課程
小・中学校教科教育コース
美術教育専修

正答及び出題の意図

1 の「正答」

1—×, 2—×, 3—×, 4—○, 5—○,
6—○, 7—○, 8—○, 9—×, 10—○,
11—×, 12—○, 13—○, 14—×, 15—○。

2 の「出題の意図」

子どもの悪戯心と創造の冒険心をくすぐる「場」「空間」として『隙間』を取り上げ、その空間的魅力を活かした授業アイデアを考える。また、多様な「意味」「概念」として『隙間』を捉えることも許容し、柔軟な発想で創造活動に発展させるような題材として『隙間』を設定している。

本問は、「場」「空間」の特徴を活かしたものから、「間」「余白」「余地」等の視点まで含み込み、遊びや悪戯ともクロスさせ、子どもの造形的な好奇心に接続させうるような図工・美術の授業をいかに創出できるか、その創造的な思考力を見る。